

# トしんろだより ~道~

秋田県立聴覚支援学校 進路指導部 令和3年9月17日発行

No.5



### 全校進路研修会



7月28日に行った全校進路研修会では、卒業後の職場定着に向けた在学中の支援・指導方法について知り、進路指導に生かすことを目的に、秋田大学の前原先生をお迎えしてお話を伺いました。本校職員に加え、県内小・中学校の難聴学級担当の先生方にもご参加いただきました。講演内容について、抜粋してご紹介します。

浦語

卒業後の職場定着に向けた支援・指導方法

講師

秋田大学 こども発達・特別支援講座 准教授 前原和明先生





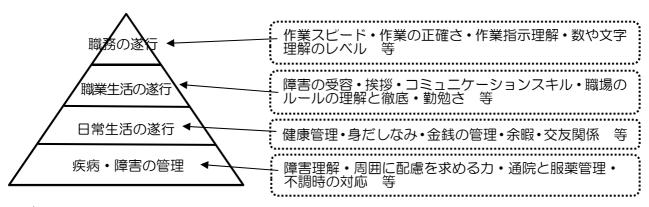
#### 講演内容

【聴覚障害者の雇用実態】(障害者職業総合センター(2020)障害のある求職者の実態等に関する調査研究より)

- ・離職を経験した聴覚障害者に「離職を防ぐことができたと考えられる職場での配慮」について調査したところ、「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」「能力が発揮できる仕事への配慮」と答えた人が最も多かった。
- 企業側は、聴覚障害者を雇用することについて「聞こえないだけなら、雇用管理が楽なのではないか」「自分の祖父も耳が聞こえにくいが、普通に会話ができるので大丈夫だろう」等の誤ったイメージをもっていることがある。

#### 【職業準備性】

- ・企業側ではなく個人の側に、職業生活を始める(再開も含む)ために必要な条件のことを職業準備性と言う。仕事のスキル面(パソコン操作等)ではなく、働き続けるために必要な準備が整っているかを図る指標である。
- 下の図のようにピラミッド型になっている。上の項目が身に付いていても、下の項目が身に付いていないと根元がぐらついてしまい、職業生活を継続することが困難になる。



- ── ○聴覚障害者の就労に関しては、十分な理解や配慮が得られているとは言い難い状況。個人と会 社の間のギャップを埋めるために、多様な観点から課題を捉えて支援していく必要がある。
  - ○「職業準備性が全部備わっていないと働けない」のではなく、「できていない面はどのような支援があればできるのか」という捉え方が大切である。また、できることを少しずつ増やしていくための目安として活用し、小さいうちから段階を踏んで身に付けていく必要がある。

# 寄宿舎 先輩と語る会

9月2日(木)に寄宿舎で先輩と語る会を行い、寄宿舎生4名が参加しました。本校職員の大塚由美子先生が、自身の生い立ちに沿って、聞こえにくさによって苦労したことや、その克服のため

に努力してきたこと等をお話ししました。コミュニケーションに 関するお話では、病院や美容院など、生徒にとって身近な場所を 例に挙げ、どのようにして相手とやり取りをしているのか具体的 な方法を紹介しました。「相手や場に応じていろいろな方法でコ ミュニケーションを工夫すること」「自分から初めに『聞こえにく いので』と相手に伝えること」が大切というお話を、全員が真剣 な表情で聞いていました。今回の貴重なお話を聞いて、生徒たち が自分の現在の生活や将来について見つめ直すきっかけになれば と思います。



本校中学部を平成21年度に卒業した、鹿子澤拳さんが 8月24日に国立競技場で行われたパラリンピック開会式に パフォーマーとして出演しました。「おしゃべりが大好き な飛行機」の役を演じ、主人公の少女に表情豊かな手話と ダンスで話し掛けました。幼い時からダンスが好きで、大 学ではダンスサークルに所属し、卒業後もダンスを職業に 選び国内外のステージで活躍されています。



↑9月2日の新聞に掲載されました



## ― 中止のお知らせ

- 〇先月末に発行した進路だより No.4 でお知らせしました、全日本ろうあ連盟設立70周年映画『咲む』上映会は、県内で新型コロナウイルス感染者が増加していることを考慮し、中止が決定しました。
- 〇9月2日(木)に開催を予定していた障害福祉サービス事業所合同説明会も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。説明会は開催できませんでしたが、今後もタイムリーな進路情報を提供できるよう努めていきます。

#### 発行内容、お問い合わせについて

進路指導部報「しんろだより~道~」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

(ホームページURL: http://www.kagayaki,akita-pref.ed.jp/chokaku-s/)

他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に教頭、担任、進路指導部員にお話しください。